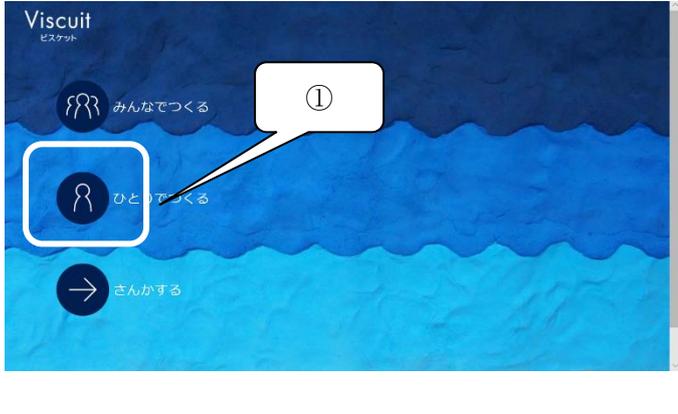
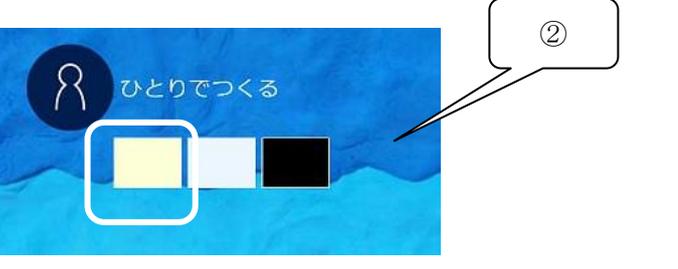
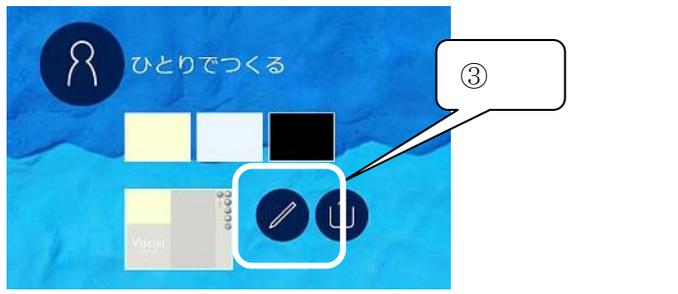
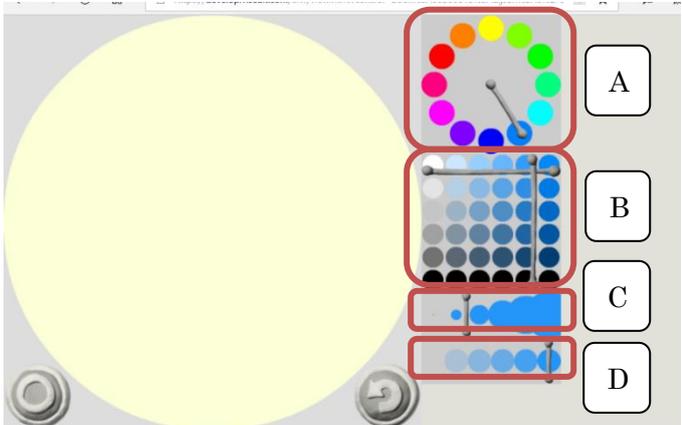
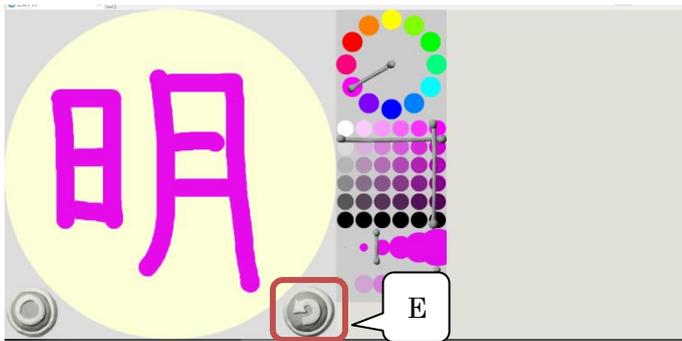
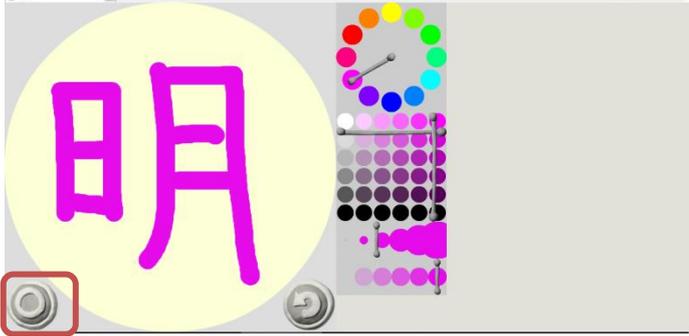
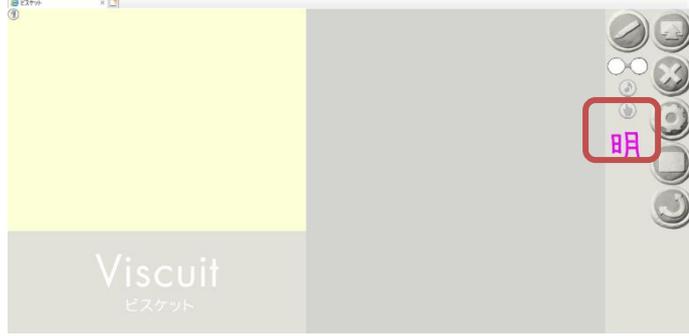
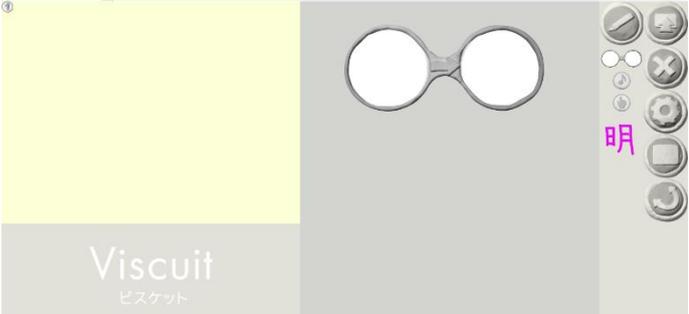
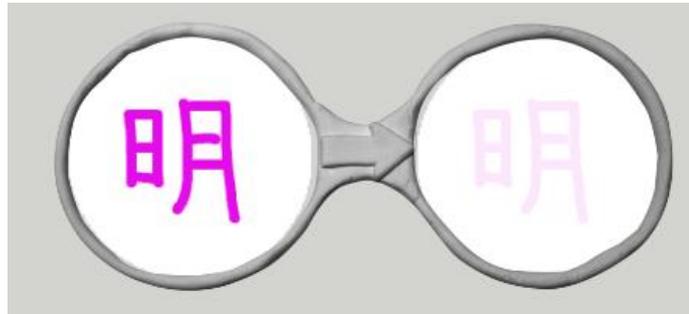
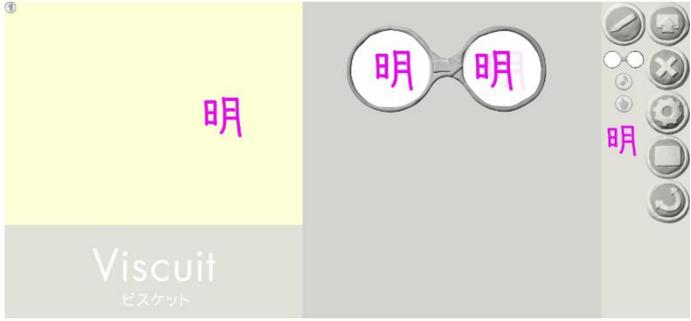
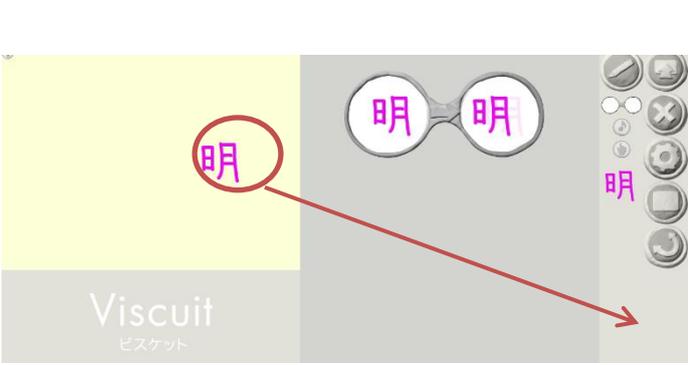


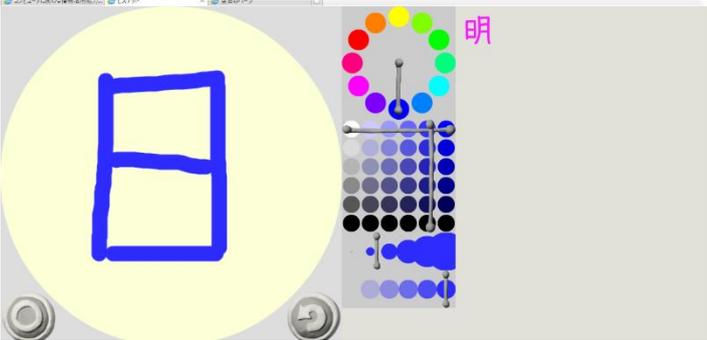
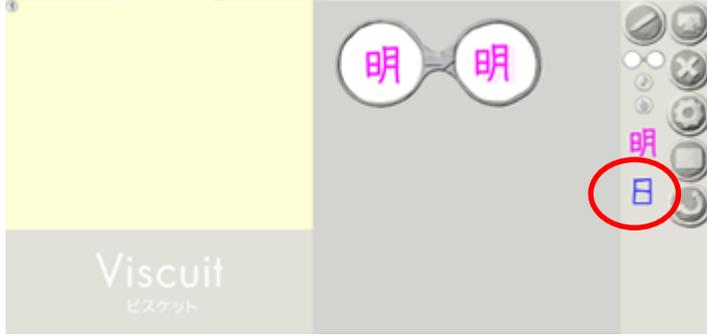
小学校3・4年生 【国語】漢字をつくろう

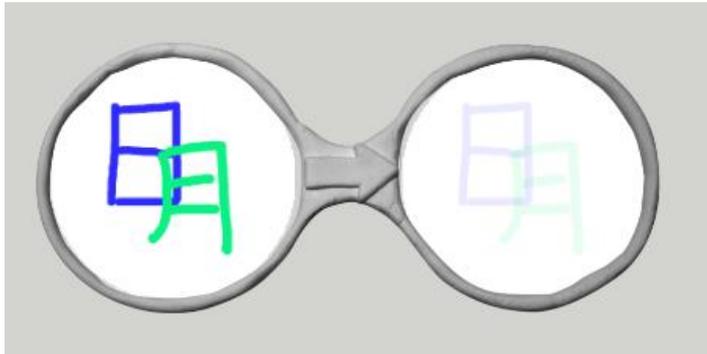
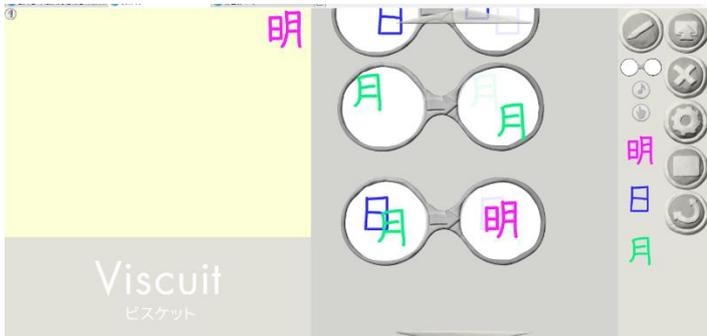
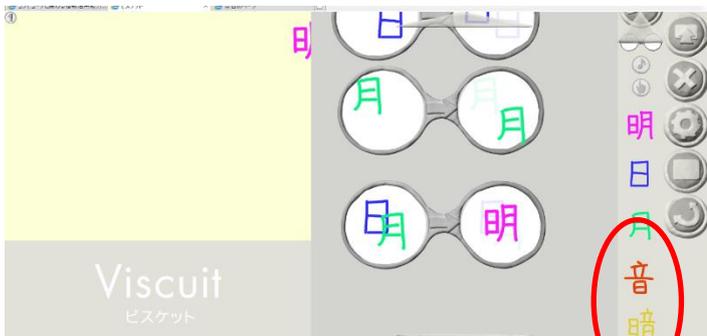
画面	操作
	<p>Viscuit を起動しましょう (1) ブラウザを立ち上げ、下記の URL にアクセスします。</p> <p>https://www.viscuit.com/</p> <p>「あそぶ」をクリックします。</p>
	<p>(2) 「やってみる」をクリックします。</p>
	<p>(3) 「ひとりで作る」モードで起動します。</p> <p>①「ひとりで作る」をクリックします。</p> <p>【ポイント】 「ひとりで作る」モードでは、めがねの左右に入れる部品の数を変えることができます。</p>
	<p>②背景色を選択します。 どの色を選んでもよい。保存するときには、色別になっています。</p>
	<p>③鉛筆のマークをクリックします。</p>

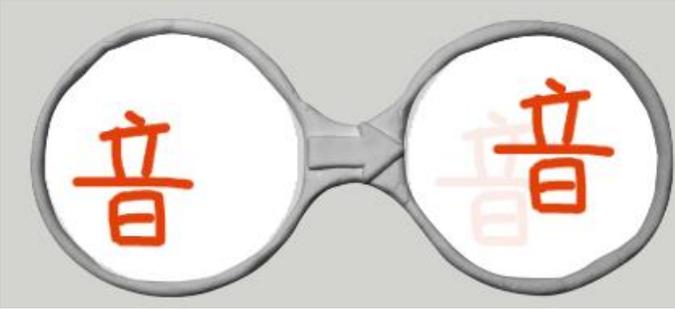
画面	操作
<p><制作画面></p> 	<p>(4) Viscuit の<制作画面>が表示されます。</p>
	<p>字(部品)を描いて動かしてみましょう</p> <p>(1) <制作画面>の「えんぴつボタン」をクリックして、<お絵描き画面>に移動します。</p>
<p><お絵描き画面></p> 	<p>(2) 字を描きます。</p> <p>① 色や太さを選びます。 <お絵描き画面>の左側で色や太さを選択することができます。</p> <p>A カラーパレット 色(色相)を選択 B カラーパレット 色の明度と彩度を選択 C 線の太さを選択 D 線の透明度を選択</p>
	<p>② 右側の丸の中に、マウスや指先を使って字を描きます。</p> <p>【ポイント】 間違えたときは、「戻るボタン」(E)で一つ前に戻ることができます。</p> <p>※へんが「日」の漢字を描きましょう。 ここでは、「明」を描きます。</p>

画面	操作
	<p>③絵が完成したら、「丸ボタン」をクリックして、 <制作画面>に戻ります。</p>
	<p>④<制作画面>の左側にある「部品置き場」に描いた字が表示されます。</p> <p>【ポイント】 字の修正をするときは、字（部品）を長押しして表示される「えんぴつ」の絵をクリックしてください。</p>
	<p>(3)「明」の動きのルールを作ります。</p> <p>①<制作画面>の「めがね置き場」にめがねを配置します。</p>
	<p>②めがねに「明」の字を配置します。 めがねの左側に「明」を入れます。</p>

画面	操作
	<p>③左の位置と少しずらした状態で、めがねの右に「明」を入れます。</p> <p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めがねの左に絵（部品）を配置すると、めがねの右には、めがねの左に入れた字（絵）が薄く表示されています。これを参考にして、少しずらして、めがねの右に字（絵）を置きましょう。 ・めがねの右の「字」を図のようにおくと、左に動く字になります。
	<p>(4)「明」を動かしてみましょう。</p> <p>①「部品置き場」から「ステージ」に「明」をドラッグします。</p> <p>【ポイント】</p> <p>ドラッグする位置はどこでも構いません。</p>
	<p>②「ステージ」の「明」が動いています。</p> <p>【ポイント】</p> <p>(3)の③での「明」の置き方によって、いろいろな動きをします。</p> <p>【ポイント】</p> <p>動きの速さと置き方についても考えましょう。</p>
	<p>③「明」を消しておきましょう</p> <p><ステージ>の明を部品置き場にドラッグして、</p> <p>【参考】ステージの部品や字（絵）を消す方法</p> <p><ステージ>に配置した部品や<めがね置き場>のめがね消すときは、部品置き場までドラッグします。ただし、めがねを消すときは、中に入れている部品を先に消しておきます。</p>

画面	操作
	<p>へんとつくり(部品)を動かしてみましよう 「明」の部首である「日」と「月」を動かしてみましよう</p> <p>(1)「明」の描き方と同様に、「日」と「月」を描きましょう。</p> <p>①「日」(へん)を描きます。描き終わったら、「○」ボタンをクリックして<制作画面>に戻ります。</p>
	<p>②「部品置き場」に「日」(へん)の絵が表示されています。</p>
	<p>③「月」(つくり)を描きます。</p> <p>(1)の①と同様に「月」(つくり)を描きます。部品置き場に表示されています。</p>
	<p>(2)「日」と「月」を動かしましょう。</p> <p>①めがねを使って「日」と「月」を動かしましょう。</p> <p>※「日」と「月」がぶつかるように、それぞれの動きを考えましょう。</p>

画面	操作
	<p>部品が(へん)と(つくり)重なると、別の部品(漢字)になるようにしましょう。</p> <p>(1)「日」(へん)と「月」(つくり)がぶつかると「明」になるように、めがねのルールを作ります。</p> <p>① めがねの左に、「日」と「月」を入れます。</p>
	<p>② めがねの右に「明」を入れます。</p>
	<p>(2) ステージを確認しましょう。</p> <p>① 「日」と「月」がぶつかると明になることを確認しましょう。</p> <p>※うまくぶつからないときは、「日」や「月」を複数ステージに入れておきましょう。</p>
	<p>別の漢字を作ってみましょう</p> <p>(1) 日へんの他の漢字を作りましょう。ぶつかると「暗」になるようにしましょう。</p> <p>① 「音」(つくり)と「暗」(漢字)を書きましょう。※「日」(へん)は、すでに用意しているので、新しく書く必要はありません。</p>

画面	操作
	<p>②「音」を動かしましょう。</p> <p>「音」(つくり)が動く、めがねを作ります。</p> <p>※動き方を考えて、めがねの中に入れてみましょう。</p>
	<p>③「暗」を動かしましょう。</p> <p>※ぶつかった後にできる「暗」を動かすためのめがねです。</p>
	<p>④「暗」をつくるめがねを作ります。</p> <p>めがねの左に「日」と「音」を入れ、右に「暗」を入れます。</p>
	<p>⑤ ステージに、「音」を入れます。</p> <p>※ 「日」を多めにいれておくとよいでしょう。</p> <p>「へん」と「つくり」がぶつかると、漢字ができます。</p>
	<p>応用</p> <p>(1) 「日」へんの他の漢字を作ってみましょう。 例 時 晴</p> <p>(2) 字の一部に「日」をもつ漢字を作ってみましょう。 例 昔</p>